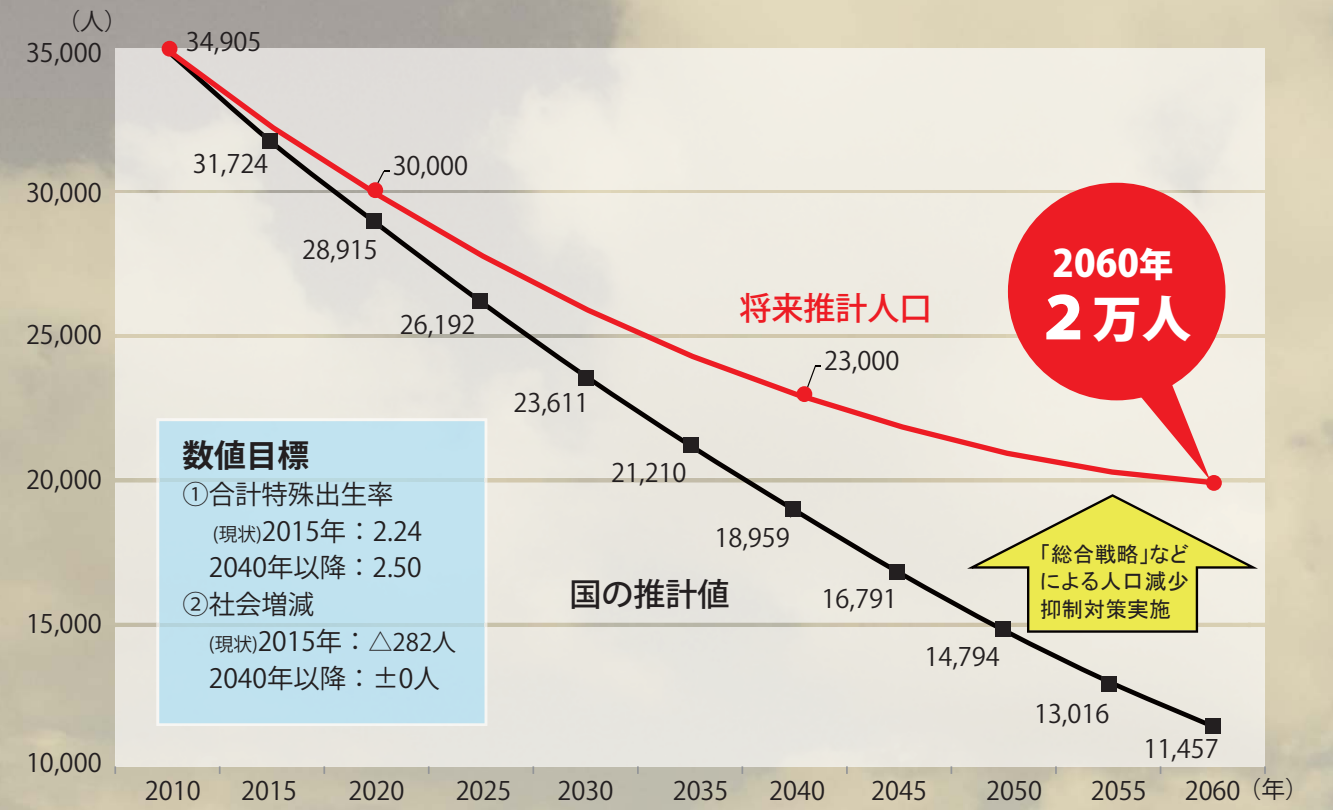


■平戸市人口ビジョンの目標



■平戸市総合戦略(4つの基本目標)

- ①雇用の促進～しごとをふやすプロジェクト～**
経済的安定を得ることは、移住・定住につながるだけでなく安心して結婚・妊娠・出産・子育てをすることができる要因の一つでもあることから、しごとをふやし、**安心して働けるようにすることを目指します。**
- ②産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～**
本市の基幹的産業である第1次産業および豊かな観光資源を基礎として、新たな雇用の確保や交流人口の拡大を図るため、**魅力あるしごとをのばしていくことを目指します。**
- ③子育て支援～ひとをそだてるプロジェクト～**
産業の振興により雇用の確保を図るとともに、結婚・出産・子育てがしやすい環境の整備などにより、若い世代の**結婚・出産・子育ての希望をかなえ、ひとをそだてることを目指します。**
- ④定住・移住の促進～まちをつくるプロジェクト～**
進学時や就職時に、市外に転出する人が多いことから、そのまま平戸市に住み続けたい、あるいは、**平戸市に戻って暮らしたいと思えるまちづくりを目指します。**

▼地方創生の計画を策定
平戸市人口ビジョン

国の推計によると、本市人口は2060年に1万1,457人まで減少することが見込まれ、今後、定住・移住人口の増加による社会動態の改善、および出生率を上昇させることで人口減少を抑制していくことが必要となっております。

本市の将来展望は、「平戸市総合戦略」などによる人口減少抑制対策の効果として、合計特殊出生率が高い水準を維持、かつ社会増減が2040年にゼロとなるように改善されていくと仮定した独自推計を行いました。その上で、2060年の人口目標を2万人と定め、地域や住民の皆さん、各界が一丸となって人口減少問題に取り組みます。

平戸市総合戦略

人口減少に歯止めをかけ、本市の活性化に向けた地方創生に関する施策を戦略的に実施していくための指針です。

4つの基本目標(雇用の促進、産業の振興、子育て支援、定住・移住の促進)を戦略的に実行し、魅力的なまちづくりを行います。

総合戦略の詳細については、市ホームページなどでも閲覧できます。

お問い合わせ 企画財政課財政班 宮内線2345

「平戸式地方創生の実現へ」

人口減少！

くいとめろ

市議会3月定例会において、平成28年度の施政方針を発表しました。今回は、その施政方針の概要を抜粋してお知らせします。

▼新年度予算の方針

平成28年度当初予算は、「平戸市総合計画」の基本理念に基づき、共通目標および基本目標を予算編成の柱としました。また、「行政改革推進計画」および「第2次財政健全化計画」を踏まえながら、より効果的な事業の取捨選択を行うとともに、財政状況も勘案した予算の重点化を図りました。

昨年4月に施行した「平戸市ずっと住みたいまち創出条例」により、本市に住む市民が地域に誇りと愛着を持ち、住みなれた地域で「ずっと住み続けたい」と思えるまちの創出を図るとともに、市外の人が「住んでみたい」と思える魅力的なまちを実現するため、「平戸市人口ビジョン」と「平戸市総合戦略」に計上された施策に、重点的に予算配分を行いました。

■特別会計

111億3,615万円(対前年度比 2.3%増)

特定の事業ごとに経理、運営する一般会計から切り離れた予算です。国民健康保険や農業集落排水事業など、保険料や使用料などの特定の収入で事業を実施します。


会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	60億6,205万円	0.9%
後期高齢者医療	4億1,040万円	△1.3%
介護保険	44億1,780万円	0.5%
農業集落排水事業	1,340万円	6.7%
宅地開発事業	450万円	△43.8%
あづち大島いさりびの里事業	1,250万円	6.1%
電気事業	1,640万円	△19.1%
駐車場事業	440万円	△9.8%
工業団地事業	1億9,470万円	3,794.0%

工業団地の主な事業

工業団地整備事業

事業費 1億9,357万円

内容 本市の地域産業の振興・地域経済の活性化および雇用促進を図るための新たな工業団地の整備



■企業会計

58億2,747万円(対前年度比 19.1%増)

民間企業のように、その事業の収益で経費を賄って仕事(サービス提供)を行う予算です。

会計名	予算額	対前年度比
水道事業	28億3,432万円	44.8%
病院事業	27億6,559万円	0.3%
交通船事業	2億2,757万円	△5.3%



水道事業の主な事業

田平地区統合簡易水道事業

事業費 4億5,630万円

内容 田平東部浄水場増設および導水管の整備



■市民一人当たりの予算【一般会計】

市の平成28年度の一般会計当初予算の市民1人当たりの予算額は次のとおりとなっています。(平成28年3月1日現在の人口、33,138人で計算)

特に、民生費(高齢者や児童の福祉などの予算)や総務費(地域振興などの予算)、衛生費、公債費、農林水産業費などの構成比が大きくなっています。

市民1人当たり

822,319円

(対前年比85,219円の増)

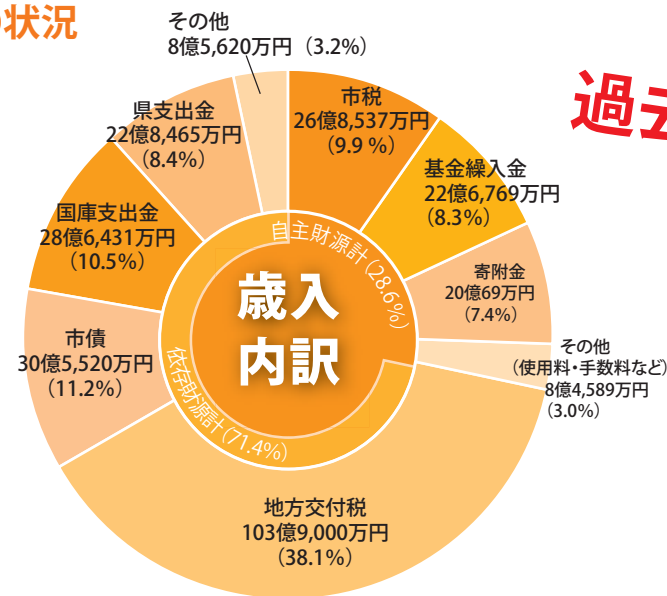


<p>民生費</p> <p>204,661円</p> <p>(対前年度17,942円増)</p> <p>高齢者や児童の福祉</p> 	<p>総務費</p> <p>189,009円</p> <p>(対前年度57,233円増)</p> <p>地域振興やふるさと納税の返礼品</p> 	<p>衛生費</p> <p>95,519円</p> <p>(対前年度13,160円増)</p> <p>ごみ・し尿処理や病気予防</p> 	<p>公債費</p> <p>95,086円</p> <p>(対前年度2,756円増)</p> <p>借入金の返済</p> 	<p>農林水産業費</p> <p>63,681円</p> <p>(対前年度11,248円増)</p> <p>農林水産業の振興</p> 
<p>教育費</p> <p>59,925円</p> <p>(対前年度16,584円減)</p> <p>学校や図書館・文化振興</p> 	<p>土木費</p> <p>57,256円</p> <p>(対前年度685円減)</p> <p>道路・住宅の整備</p> 	<p>消防費</p> <p>24,956円</p> <p>(対前年度135円増)</p> <p>消防・防災対策</p> 	<p>商工費</p> <p>23,751円</p> <p>(対前年度1,681円増)</p> <p>商業・観光の振興</p> 	<p>その他</p> <p>8,475円</p> <p>(対前年度1,667円減)</p> <p>議会経費・災害復旧など</p> 

一般会計当初予算

272億5千万円(対前年度比9.4%増)

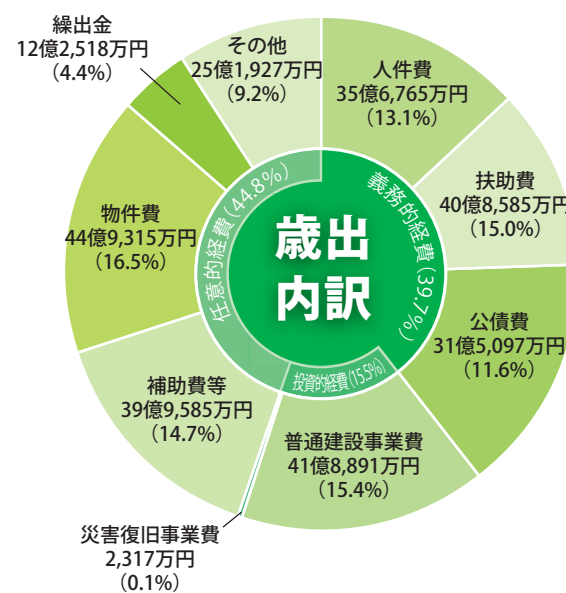
□歳入の状況



市町村合併後
過去最大規模!

歳入は、平成27年度と比較すると、ふるさと納税による「やらんば!平戸」応援寄附金、基金繰入金、市税が増加見込みの一方、普通交付税は、国勢調査や合併特例算定替の影響により減少する見込みです。また、市税や基金繰入金など市で賄える「自主財源」の割合は、28.6%で6.4%増加となりました。

□歳出の性質別分類の状況



今年はこれに
力を入れます!!

総合戦略

主要事業に
8億円



総合戦略	
主要事業	事業費
雇用の促進	2億円
産業の振興	3億円
子育て支援	0.5億円
定住・移住の促進	2.5億円

※事業の詳細は、P6~7に掲載

歳出では、平成27年度と比較すると、ふるさと納税による「やらんば!平戸」応援寄附金の増加に伴う積立金と物件費(寄附に対する返礼品など)が増加する見込みですが、人件費は定員適正化により減少を見込んでいます。また、義務的経費の割合は、39.7%で2.8%減少となりました。

「ずっと住み続けたい!住んでみたい!」と思える魅力的なまちの実現へ!

平成28年度当初予算を説明します

子育て支援～ひとをそだてるプロジェクト～ (予算額0.5億円)

数値目標	H27基準値	H31目標値
合計特殊出生率	2.24	2.32
平戸市は安心して結婚・妊娠・出産できるような環境・社会であると思う人の割合	24.5%	40%
20歳から49歳までの社会増減数	△126人	△100人

▼結婚・妊娠・出産に向けた支援

安心出産支援事業
253万円

妊婦の健診時、出産時における交通費などの助成

▼教育の環境整備

すみずみまで本を届ける事業
441万円 **新規**

図書館へのアクセスに不利な地域の住民に対し、本や情報を届けることによる図書館サービス訪問支援の強化

▼子ども・子育て支援の充実

保育所入所児童保護者負担金の軽減
8,674万円

国の基準を下回る負担率により保護者の経済的負担軽減

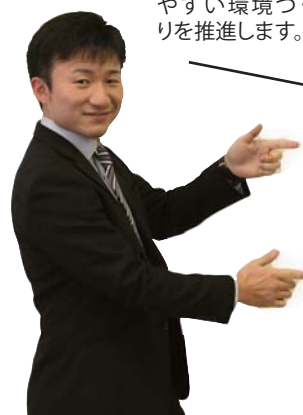


子育てしやすい環境を整えます。



市民課国保年金班
濱崎 孝平 主事補

働く職場や働きやすい環境づくりを推進します。



商工物産課商工新産業班
山村 健介 主事補

ずっと住み続けたい!住んでみたい!

魅力的なまちの実現に向けて(プロジェクト一覧)

■お問い合わせ 企画財政課企画統計班 ☎内線2335

雇用の促進～しごとをふやすプロジェクト～ (予算額2億円)

数値目標	H27基準値	H31目標値
市内事業所従業者数	10,918人	11,500人
平戸市は働き続けることができる環境にあると思う人の割合	31.0%	50.0%
ハローワークを通じた新規就職者数	356人	400人

▼就労機会の拡大

介護職人材確保支援事業
1,477万円 **拡充**

介護職の人材確保のための対策

▼新たなビジネスの創造

ものづくり・創業支援対策事業
1億1,000万円

創業に係る設備投資支援および既存事業者の事業拡大に係る設備投資支援

▼就労環境の整備

男女共同参画社会推進事業(女性活躍推進モデル事業)
50万円 **新規**

300人以下の市内企業などを対象に男女共同参画社会や女性活躍推進についての学習機会の提供



定住・移住の促進～まちをつくるプロジェクト～(予算額2.5億円)

数値目標	H27基準値	H31目標値
これからも平戸市に住み続けたいと思う人の割合	54.5%	60%
平戸市は「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができていると思う人の割合	29.2%	40%
社会増減数	△303人	△247人
市外からの移住世帯数	3世帯	20世帯

▼平戸市への移住の推進

移住定住環境整備事業
3,573万円 **拡充**

本市に定住および移住する者に対する支援および空き家バンクの設置など

▼移住に向けた情報発信

地域おこし協力隊導入事業
3,262万円

地域活性化のための地域外人材の積極的登用

▼安全・安心なまちづくり

自主防災組織育成事業
100万円

地域の防災力向上のため、自主防災組織の育成



総合戦略の予算の一部は、やらんば!平戸応援基金(ふるさと納税)から約4億円を充当しています。

住みやすいまちづくりを推進します。



行革推進課(地域おこし協力隊)
高岡 北斗 隊員

交流人口の拡大や若手人材の支援を推進します。



観光課観光振興班
石田 智也 主事補

産業の振興～しごとをのばすプロジェクト～ (予算額3億円)

数値目標	H27基準値	H31目標値
観光入込客数	1,768,716人	2,000,000人
平戸観光に期待したものについての満足度	65.3%	70%
漁業就業者数	1,627人	1,520人
農業就業者数	1,900人	1,630人

※就業者数については、自然減を抑制します。

▼農林業の振興

(仮称)平戸市産業振興公社設立準備事業
100万円 **新規**

担い手研修・新規作物研究・労力支援などを行う(仮称)平戸市産業振興公社設立に向けた事前調査

▼水産業の振興

漁業就業者確保育成総合対策事業
832万円 **拡充**

漁業後継者確保のための生活支援および技術力向上のための研修

▼観光の振興

公共交通機関等利用促進事業
1,420万円 **新規**

個人旅行者などを対象とした、2次交通アクセスの対策

▼産業の育成と支援

まちなかビジネスチャレンジ事業
232万円 **新規**

新規出店希望者に対して、チャレンジショップなどで利用できる空き店舗を提供